

学校だより青南

1月号

令和5年1月13日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



役割

校長 野口 直樹

新年明けましておめでとうございます。3学期も教職員一同力を合わせて教育活動を行います。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは、箱根駅伝ご覧になったでしょうか。私は、往路・復路ともに最初から最後まで見ていました。私は、毎年この駅伝を見ることに楽しみにしています。

箱根駅伝は、1920年に「オリンピックで活躍する選手を生み出す」ことを目的として金栗 四三（日本人第一号のオリンピック選手）さんが、提唱し開催されました。以後連綿と歴史が紡がれ今年99回をおかえました。今や全国ネットのテレビ放送で、お正月の風物詩とまで言われ大学陸上部の選手たちにとって華やかな舞台であります。また、金栗さんの思いのとおり、この箱根駅伝を通してオリンピック選手が何人も輩出されており、一流のランナーの異次元の走りを見ることはとても楽しいことです。でも、そこ以外にも私の楽しみはあります。

例えば、ランナーが走っている浴道で、学生スタッフの皆さんが浴道や中継地点でキビキビと役員をしている姿が見られることです。この学生スタッフさんたちは、関東にある様々な大学陸上部に所属している部員の皆さんだそうです。中には、箱根駅伝を走ることを目標としていた人たちもいると思います。そんな、走ることが叶わなかった人たちも、走る選手を見ながら自分の役割を精一杯こなしている姿に心を動かされます。また、先ほど触れたとおり、オリンピックや世界陸上に出場する選手がいる一方で、そこまでは到達していない選手たちも多く出場しています。その大きく注目されていない選手も自分の役割を果たすために、次の中継地点で待つ仲間に襷を届けるために懸命に走っている姿にも心を動かされます。

役割は、自分が望むものばかり、やってはきません。時には、全く自分が望まない役割がやってくることがあります。そこで、いやいやその役割をこなすのか、任された仕事にしっかりと向き合っ取り組むのかで、その後の成長が大きく変わってくると考えています。私が、大学1年生の時、バスケットボール部に所属していましたが、中々試合に出ることができていなかった時のことです。練習終了後の先輩たちのシューティング（シュートの練習）のリバウンド（球拾い）が、嫌でした。これは、1年生の役割でした。当然、試合に出場している1年生も例外ではありません。ある時、私は同期の友人（レギュラーで試合に出ていました）にこのリバウンドが、嫌でしょうがないと愚痴をこぼしたところ「俺は、リバウンドからのパスの練習と考えやっているから、別に嫌じゃない」と言われました。ここに、試合に出る者とそうじゃない者の違いがあると気付かされた私は、それ以後、彼と同様にその球拾いに取り組むようになり、それ以外の練習もただやるのでは無く考えて取り組むようになりました。結果、2年生から試合に出て少しは、活躍できるようになりました。この姿勢、考え方は、今も私は大切にしています。

青南小学校の子どもたちにも、学年ごとの、学級内での役割がそれぞれにあります。それは、自分の望まないものかもしれませんが、一心にやりきっていくことで身に付く力が必ずあります。卒業までの3ヶ月子どもたち一人ひとりが自分の役割を心にとめ、学校生活を過ごしていけるよう教職員一同取り組んでまいります。

1月の生活目標

【落ち着いた生活をしよう】

生活指導部

クリスマスやお正月等、楽しいイベントが沢山あった冬休みも終わり、新年を迎え、気持ちを新たに3学期のスタートを切ろうと意欲的な子どもたちの姿が見られます。大人も子どもも少しゆったりと流れる時間の中で、心がりフレッシュできたのではないのでしょうか。しかし長期の休みに入ると、生活のリズムが少し乱れてしまう面があります。生活習慣の乱れは、学習意欲の低下につながります。就寝時刻が遅くなる生活が続かないように気を付けましょう。そして登校時間を守ることをご家庭でも意識してもらいたいです。余裕をもって朝の支度ができると、一時間目の授業から落ち着いた気持ちで受けることができます。少しずつ体を慣らし、メリハリのある生活リズムを取り戻して行って欲しいと思います。

【書き初め会のお知らせ】

国語部書き初め担当

新年を迎え、新たな気持ちで1月11日、12日に書き初め会を行います。1、2年生は硬筆で、3年生以上は毛筆で行います。それぞれのめあてに向かって一文字一文字丁寧に書き上げる子どもたち。ピンと張りつめた緊張感の中、紙を走る筆の音だけが聞こえ、普段の景色とは異なる体育館や教室となります。

冬休み中も子どもたちは、お手本の字のように書くためにどうしたらよいか考え、たくさん練習したと思います。練習した成果を発揮して、のびのびと仕上げたいと思います。

書き初めには、「文字を上手に書けるようになることを願う」という意味があります。「書は人なり」という言葉もあるように、書き初めをきっかけに、日ごろから文字を丁寧に書く意識をもってほしいと思います。

【 3年 】

いよいよ2023年。3年生は、3月に学校生活のちょうど半分を終えます。そして、4月には学校生活の後半、つまり高学年としての学校生活開始です。低学年の頃より、難しい課題も多くなります。怯むことなく、知力・体力・精神力を磨き上げ、自分の人生や生き方につながる、学びの多い学校生活を展開してほしいと願っています。この3カ月は、その準備の期間とし、大切に過ごしていきます。学習の総まとめ、基本的な生活習慣の確立、心の耕しの3つを最優先していきます。

学習は、何より基礎学力。読む（音読・読み取り・読書活動 etc.）、書く（漢字書き取り・ノート記述・日記や文章力 etc.）、計算（20までの合成分解・かけ算の筆算・あまりのあるわり算 etc.）、聞く（共感的に聞く、正確に聞く etc.）、話す（聞きやすい声で話す、分かりやすく話す etc.）力は、高度な高学年の学習の前提条件です。つまずき克服に総力挙げます。心の成長には、豊かなかかわりを通じて働きかけます。感謝と思いやり、謙虚さと自信……心豊かな四年生を目指します!!

【 5年 】

あけましておめでとうございます。冬休みは楽しく過ごすことができたでしょうか。5年生の3学期も、新しい経験や挑戦がたくさん待っています。縦割り班では、ついに自分たちが中心となって活動の計画や運営をしていきます。3月になると、ありがとう6年生や、卒業式などの大きな行事に向けて、活躍していく場面も増えていきます。

そんな中で、5年生は、最高学年の責任の大きさや、6年生の偉大さに気付いていくのではないかと思います。実際、クラブ・委員会・縦割り班での6年生の存在は非常に大きく、見えないところでたくさんの仕事をしてきています。この3か月で、今までしてもらってきたことに感謝し、「次は自分の番だ。」という自覚を育てていきたいです。はじめはうまくいかないこともあるかもしれませんが、それでも、6年生の大きな背中を追いかけて、最高学年への準備をしていく5年生たちを、しっかりと支えていきます。

【 算数少人数 】

12月の6年生の算数では、「データの調べ方」の学習をしました。6年生3クラスの長縄の練習日数とそれぞれの日に何回跳べたかというデータが教科書に示されており、そのデータに基づいてどのクラスが優勝するかを予想するという学習でした。

この「データの活用」領域は、現在の学習指導要領（平成29年告示）から新設された内容で、いわゆる「統計教育」です。ここでは、複数の集団を比べる時に、「平均値」「最頻値」「中央値」などで比べることができることを学習します。

単元の後半では、「練習をがんばったそれぞれのクラスにどんな賞をあげるとよいか」を考えました。「柱状グラフが幅の狭い山になっているから『安定賞』」、「平均値、最頻値、中央値の中で1位になっている回数が多いから『優秀賞』」など、一人一人が練習データに基づいて賞を考えました。今回学んだ統計的な問題解決の方法を、様々な場面で生かしてほしいと思います。

【音楽委員会】

音楽委員会では、昨年、全校で合唱に取り組んだ「素敵な言葉」の歌の伴奏を演奏しました。今年度は、昨年度の伴奏には取り入れなかった楽器「アコーディオン」「トーンチャイム」を使用しました。全校のみんなに、「どんな音色が出る楽器なのか?」「どうやって音を出す楽器なのか?」など知ってもらって、興味をもってくれる方法を考え、音楽朝会で発表しました。キーボード、木琴、グロッケン、ウインドーチャイムなど、伴奏に合う楽器を自分たちで考え、分担して動画をつくりました。

開校記念週間では、昨年度と同じ「イントロクイズ」を行いました。2つのグループに分かれて、問題にする曲を自分たちで考え演奏しました。どうやったらたくさんの人に楽しんでもらえるかを考えて当日発表の日を迎えました。たくさんの人が、自分たちの演奏で、笑顔になってもらえる姿を目の当たりにして、努力しただけ感激も大きいことを学んだようです。次回は、もっと多くの人に音楽を通して喜んでもらいたいと意欲を燃やしています。今年の活躍が楽しみです。

【環境委員会】

環境委員会では、毎週火曜日の給食の時間に、各学級に行き、リサイクルペーパーの回収をしています。各学級で不要になった紙を、リサイクルペーパーとミックスペーパーに分別・回収し、資源として活用しています。効率的に資源を活用し、無駄を少しでも減らすためには、各学級での取り組みがとても重要です。そのため環境委員が決めた環境目標を、毎月各クラスに掲示しています。低学年から高学年までだれでも意識できる目標か、達成できたかがわかりやすい目標か、その月に合った目標かなどを考えながら、みんなで話し合っています。

今回の開校記念週間では、環境について考えるスタンプラリーと動画の放映を行いました。参加した下級生に向けて「植物を大切にね。」「紙の分別を頑張るね。」と声をかける姿が、とても頼もしかったです。今年度の委員会活動も残りわずかですが、青南小学校の環境リーダーとして、たくさん活躍して欲しいです。

【伝統文化クラブ】

伝統文化クラブは、4年生10名、5年生3名、6年生2名の計15名で活動しています。今年度は、華道、昔遊び、浴衣の着付けなどに取り組んでいます。

7月の活動では、iPadで着付けの仕方について動画を見ながら浴衣を着てみました。帯の結び方を友達と試行錯誤しながら着ていました。着付けができると、写真を取り合っていました。

12月の活動では、2回目の華道を体験しました。講師の先生をお迎えし、生け花を教えてくださいました。全体的なバランスを考えながらも、それぞれの花のよさを引き出すように花を生けていました。回数を重ねるたびに、生け方も上手になりました。

1月の活動では、自分たちで作った凧あげを使って楽しむ予定です。

このクラブでの活動を通して、和の心を体感しながら、改めて日本の伝統文化のよさに気付く時間になっています。